

# 経済建設委員会 所管事務調査資料

(その1)

令和元年5月

経済部

公営競技事業所(P3)

農林振興課(P19)

産学振興課(P10)

農業委員会事務局(P23)

国際政策課(P14)

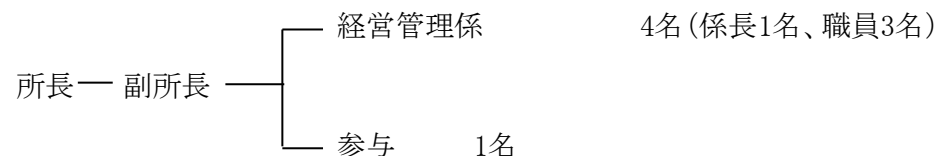
各支所経済建設課(P25)

商工観光課(P16)



## 所管事務の概要（公営競技事業所）

1 公営競技事業所の組織 7名(所長 1名、副所長 1名、係長 1名、職員 3名、参与 1名)



※平成27年4月1日より包括的民間委託を導入。受託業者:日本トーター株式会社

## 2 所管事務事業の概要

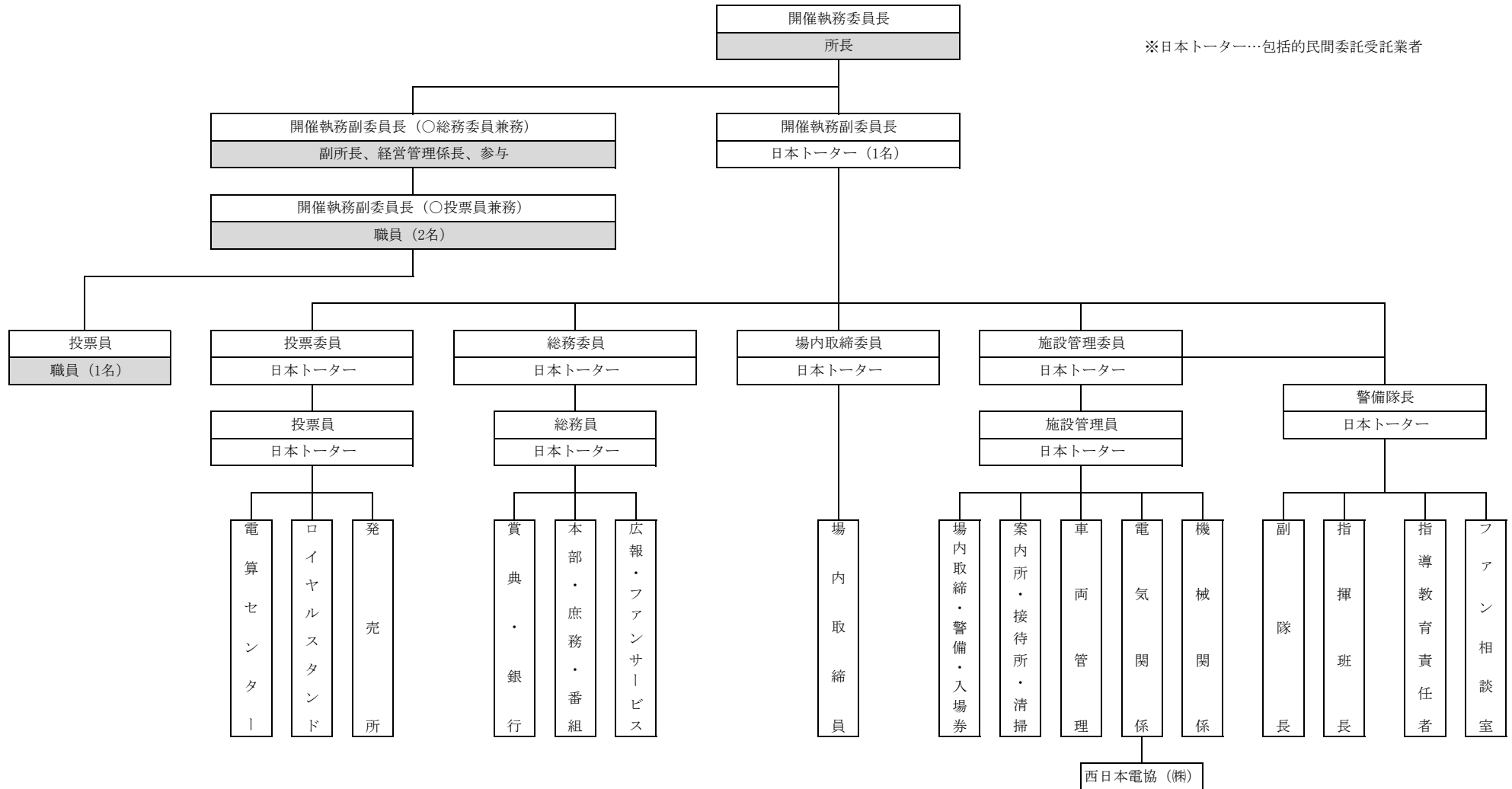
### 経営管理係

- |                        |                          |
|------------------------|--------------------------|
| (1) 小型自動車競走事業の開催に関する事。 | (6) 小型自動車競走事業の経営改革に関する事。 |
| (2) 事業運営についての渉外に関する事。  | (7) 小型自動車競走事業の調査研究に関する事。 |
| (3) 場外発売に関する事。         | (8) 包括的民間委託の執行管理に関する事。   |
| (4) 賞典に関する事。           | (9) 専用場外発売所に関する事。        |
| (5) 施設の管理及び改善に関する事。    | (10) 課の庶務に関する事。          |

※平成31年度の開催日数(上期確定、下期予定)・・・通常開催88日、ミッドナイトオートレース38日、場外のみ発売日226日の合計352日

主な開催(公表のみ)・・・ SG日本選手権オートレース:令和元年10月31日～11月4日の5日間  
特別G I プレミアムカップ:令和2年3月18日～22日の5日間  
G I ダイヤモンドレース:令和元年6月26日～30日の5日間  
G I 開設記念レース:下期予定  
G II オーバルチャンピオンカップ:平成31年4月4日～8日の5日間(開催済)

# 開 催 執 務 体 制



※日本トーター…包括的民間委託受託業者

飯塚オートレース場施設概要

平成31年4月1日現在

施設規模	敷地総面積	367,580㎡					延床面積	178,997㎡			
	観客収容人員	30,000名(椅子席9,200名・ロイヤルスタンド134名・有料指定席1,432名など含む)									
発売等可能窓口	窓口数	第1スタンド			ロイヤルスタンド			別売り 発売所	合計	第1スタンド第5投票所閉鎖 第2スタンド閉鎖(第3・第4・第7・第8投票所) 第1払戻所閉鎖	
		第1投	第2投	第6投	2F	3F	4F				
		発売窓口	10	19	4	0	0	1	0		34
		自動発売機	18	0	5	0	0	0	2		25
		払戻窓口	1	0	1	1	1	0	1		5
自動発払機	6	0	3	2	2	1	2	16			
計	35	19	13	3	3	2	5	80			
発売方式	セミマルチユニット・オッズ表示方式										
大型映像装置	200インチLED大型映像装置(鉄骨造)・160インチ4面マルチビジョン(鉄骨造)										
売店	1号売店	748.50㎡			無料休憩所	中央休憩所 (2階建)	1,302㎡		700名		
	2号売店	268.00㎡				第3発売所 (中通路)	100㎡		100名		
	3号売店	266.19㎡				南休憩所	720㎡		700名		
	4号売店	72.00㎡									
	5号売店	16.00㎡									
	合計	1,370.69㎡									
CSシアター (コミュニケーション・サテライトシアター)	構造	鉄筋コンクリート造 2階建			建築面積	616.16㎡		延床面積	1,215.68㎡		
	1階	玄関ホール(展示室・身障者用エレベーター1基・身障者用トイレ)、食堂(96名対応)、レストラン(3ブース・32名対応)			2階	ロビー(自動発売機3台・自動発払機2台)、会議室(最大30名程度収容)、大型映像室(リヤ透写型プロジェクター映像装置・メモ台付椅子108脚)、喫煙室(36㎡・スツール16台)					
駐車場	名称	面積	駐車可能台数		名称	面積	駐車可能台数				
	第1駐車場	5,500㎡	360台		第5駐車場	36,754㎡	2,000台				
	第2駐車場	6,000㎡	270台		第6駐車場	35,000㎡	1,535台				
	第3駐車場	23,500㎡	950台		第7駐車場	8,000㎡	450台				
	第4駐車場	12,600㎡	540台		合計(7箇所)	127,354㎡	6,105台				
競走路	総路面		舗装走路 開粒型アスファルト・コンクリート			ダート走路					
	初開催年月日		昭和42年10月6日			昭和32年2月22日					
	周長		内線500m 外線688m			600m					
	幅員、曲率半径		30m、52m			28m、45m					
	傾斜角(カント)		50/1000								
選手宿舎	構造	鉄筋コンクリート造 3階建		面積	2,229.07㎡		収容人員	最大130名 ベット数 126床			
競走車保管庫	構造	鉄骨コンクリートブロック造 等		面積	2,820.00㎡		選手ロッカー数 120室				
騒音規制法による制限	① 6時00分から8時00分まで(65デシベル以下)			③ 19時00分から23時00分まで(65デシベル以下)							
	② 8時00分から19時00分まで(65デシベル以下)			④ 23時00分から翌日6時00分まで(55デシベル以下)							

各年度売上額及び入場者等比較表

(単位:千円:人:%)

区分	開催日数	売上額			入場者			一日平均売上額			一日平均入場者			一般会計繰出金			備考	
		うちミッド	金額	伸率	指数	人員	伸率	指数	金額	伸率	指数	人員	伸率	指数	金額	伸率		指数
S55	108		31,636,883	2.9	100	1,217,905	△0.3	100	292,934	2.9	100	11,277	△0.3	100	3,070,000	1.0	100	
S56	108		31,245,566	△1.2	99	1,164,511	△4.4	96	289,311	△1.2	99	10,783	△4.4	96	2,800,000	△8.8	91	
H57	113		30,168,875	△3.4	95	1,105,037	△5.1	91	266,981	△7.7	91	9,779	△9.3	87	2,050,000	△26.8	67	国際科学博覧会 5日間
S58	115		27,694,061	△8.2	88	1,006,580	△8.9	83	240,818	△9.8	82	8,753	△10.5	78	1,720,000	△16.1	56	" 7日間
S59	117		27,606,497	△0.3	87	1,015,939	0.9	83	235,953	△2.0	81	8,683	△0.8	77	1,600,000	△7.0	52	" 9日間
S60	112		26,408,401	△4.3	83	959,720	△5.5	79	235,789	△0.1	80	8,569	△1.3	76	1,400,000	△12.5	46	" 4日間
S61	126		27,258,313	3.2	86	1,037,239	8.1	85	216,336	△8.3	74	8,232	△3.9	73	1,200,000	△14.3	39	施設改善レース 18日間
S62	126		29,271,984	7.4	93	1,021,986	△1.5	84	232,317	7.4	79	8,111	△1.5	72	1,100,000	△8.3	36	"
S63	128		33,262,537	13.6	105	1,019,870	△0.2	84	259,864	11.9	89	7,968	△1.8	71	1,400,000	27.3	46	" 及び花と緑協賛を含む
H元	128		32,882,911	△1.1	104	1,039,597	1.9	85	256,898	△1.1	88	8,122	1.9	72	1,500,000	7.1	49	" 及び花と緑協賛を含む
H2	127		32,851,277	△0.1	104	1,021,689	△1.7	84	258,671	0.7	88	8,045	△0.9	71	1,800,000	20.0	59	" 及び花と緑協賛を含む
H3	126		42,485,023	29.3	134	1,059,300	3.7	87	337,183	30.4	115	8,407	4.5	75	2,100,000	16.7	68	" 及びオールスター場外発売を含む
H4	127		38,452,937	△9.5	122	1,032,004	△2.6	85	302,779	△10.2	103	8,126	△3.3	72	2,500,000	19.0	81	" 及びダイヤモンド場外発売、アジア競技協賛を含む
H5	128		38,250,309	△0.5	121	1,025,163	△0.7	84	298,831	△1.3	102	8,009	△1.4	71	2,300,000	△8.0	75	" 及び全日本選抜場外発売、アジア競技協賛を含む
H6	131		31,139,903	△18.6	98	974,346	△5.0	80	237,709	△20.5	81	7,438	△7.1	66	1,580,000	△31.3	51	" 及びアジア競技協賛を含む
H7	126		35,561,195	14.2	112	966,028	△0.9	79	282,232	18.7	96	7,667	3.1	68	1,400,000	△11.4	46	" 及び日本選手権場外発売を含む
H8	126		32,904,406	△7.5	104	945,503	△2.1	78	261,146	△7.5	89	7,504	△2.1	67	800,000	△42.9	26	" 及び全国地区対抗 "
H9	126		30,754,108	△6.5	97	889,628	△5.9	73	244,080	△6.5	83	7,061	△5.9	63	500,000	△37.5	16	" 及びオールスター "
H10	126		29,502,911	△4.1	93	823,270	△7.5	68	234,150	△4.1	80	6,534	△7.5	58	0	皆減	0	" 及び東西チャンピオン、ダイヤモンド、ジュニア "
H11	122		25,538,732	△13.4	81	710,570	△13.7	58	209,334	△10.6	71	5,824	△10.9	52	0	-	0	施設15日・選抜、ダイヤモンド、ジュニア、周年
H12	122		23,225,887	△9.1	73	675,748	△4.9	55	190,376	△9.1	65	5,539	△4.9	49	0	-	0	グランプリ、ダイヤモンド、ジュニア、周年
H13	120		24,163,933	4.0	76	665,221	△1.6	55	201,366	5.8	69	5,544	0.1	49	0	-	0	日本選手権、ダイヤモンド、トマス、周年
H14	117		19,981,454	△17.3	63	578,248	△13.1	47	170,782	△15.2	58	4,942	△10.9	44	0	-	0	ジュニア、ダイヤモンド、トマス、周年
H15	113		17,589,186	△12.0	56	530,558	△8.2	44	155,657	△8.9	53	4,695	△5.0	42	0	-	0	オールスター、ジュニア、ダイヤモンド、トマス、周年
H16	110		14,855,454	△15.5	47	466,193	△12.1	38	135,050	△13.2	46	4,238	△9.7	38	0	-	0	プレミアムカップ、ジュニア、ダイヤモンド、トマス、周年
H17	88		16,158,311	8.8	51	341,348	△26.8	28	183,617	36.0	63	3,879	△8.5	34	0	-	0	全日本選抜、ジュニア、ダイヤモンド、オーバル、周年
H18	88		16,190,680	0.2	51	311,439	△8.8	26	183,985	0.2	63	3,539	△8.8	31	0	-	0	グランプリ、ジュニア、ダイヤモンド、オーバル、周年
H19	85		17,810,209	10.0	56	351,824	13.0	29	209,532	13.9	72	4,139	17.0	37	0	-	0	日本選手権、ジュニア、ダイヤモンド、オーバル、周年
H20	85		16,289,495	△8.5	51	314,185	△10.7	26	191,641	△8.5	65	3,696	△10.7	33	0	-	0	G1プレミアム、ジュニア、ダイヤモンド、オーバル、周年
H21	83		16,149,883	△0.9	51	313,156	△0.3	26	194,577	1.5	66	3,773	2.1	33	0	-	0	オールスター、ジュニア、ダイヤモンド、オーバル、周年
H22	82		14,808,577	△8.3	47	292,116	△6.7	24	180,592	△7.2	62	3,562	△5.6	32	0	-	0	日本選手権、ジュニア、ダイヤモンド、周年
H23	81		13,494,167	△8.9	43	266,054	△8.9	22	166,595	△7.8	57	3,285	△7.8	29	0	-	0	プレミアム、ダイヤモンド、周年
H24	85		11,467,567	△15.0	36	253,272	△4.8	21	134,913	△19.0	46	2,980	△9.3	26	0	-	0	グランプリ、ダイヤモンド、周年、ダブルチャンピオン
H25	84		10,490,334	△8.5	33	249,105	△1.6	20	124,885	△7.4	43	2,966	△0.5	26	0	-	0	オールスター、ダイヤモンド、周年、ダブルチャンピオン
H26	87		10,522,855	0.3	33	236,269	△5.2	19	120,952	△3.1	41	2,716	△8.4	24	0	-	0	日本選手権、ダイヤモンド、周年、地区対抗戦
H27	87	3	10,743,971	2.1	34	207,187	△12.3	17	123,494	2.1	42	2,467	△9.2	22	0	-	0	全日本選抜、ダイヤモンド、周年、オーバル
H28	114	26	13,680,215	27.3	43	203,267	△1.9	17	120,002	△2.8	41	2,310	△6.4	20	0	-	0	オールスター、ダイヤモンド、周年、プレミアム、オーバル
H29	124	37	14,028,187	2.5	44	185,131	△8.9	15	113,131	△5.7	39	2,128	△7.9	19	0	-	0	全日本選抜、ダイヤモンド、周年、プレミアム、オーバル
H30	125	37	14,401,287	2.7	46	169,475	△8.5	14	115,210	1.8	39	1,926	△9.5	17	0	-	0	オールスター、ダイヤモンド、周年、プレミアム、オーバル

# 平成29・30年度売上額及び入場者比較表(全体)

(単位:円、人、%)

月	売上額						入場者数			
	30年度実績 A		29年度実績 B		29年度との比較		30年度実績 D	29年度実績 E	29年度との比較	
					増減額 A-B=C	比率 C/B			増減数 D-E=F	比率 F/E
SG	日数	G II	日数							
4	1,862,271,400	12	1,670,154,300	12	192,117,100	11.5	19,746	19,483	263	1.3
5	607,634,000	7	1,026,540,200	11	△ 418,906,200	△ 40.8	7,039	15,795	△ 8,756	△ 55.4
6	937,464,100	10	1,015,640,800	11	△ 78,176,700	△ 7.7	11,482	15,274	△ 3,792	△ 24.8
7	752,623,000	9	1,551,492,700	11	△ 798,869,700	△ 51.5	8,269	22,578	△ 14,309	△ 63.4
8	1,524,938,900	11	898,169,500	10	626,769,400	69.8	22,201	10,991	11,210	102.0
9	1,689,439,300	12	1,044,201,100	8	645,238,200	61.8	19,484	13,059	6,425	49.2
10	874,613,300	11	828,959,200	10	45,654,100	5.5	13,553	11,576	1,977	17.1
11	1,443,953,900	11	1,162,007,800	9	281,946,100	24.3	17,731	14,599	3,132	21.5
12	1,047,494,900	12	1,035,315,500	10	12,179,400	1.2	9,865	12,136	△ 2,271	△ 18.7
1	1,913,587,300	13	1,838,860,900	9	74,726,400	4.1	22,386	22,813	△ 427	△ 1.9
2	380,876,800	3	756,181,700	9	△ 375,304,900	△ 49.6	4,339	13,112	△ 8,773	△ 66.9
3	1,366,390,200	14	1,200,664,100	14	165,726,100	13.8	13,380	13,715	△ 335	△ 2.4
合計	14,401,287,100	125	14,028,187,800	124	373,099,300	2.7	169,475	185,131	△ 15,656	△ 8.5
1日平均※1	118,075,300		114,766,700		3,308,600	2.9	1,925	1,889	36	1.9

※1 1日平均については、競走中止及び競走不成立により、1日の全レースが開催できなかった日数及び売上を除き算出

(平成29年度 差引日数:2日、差引売上:26,653,200円、平成30年度 差引日数:6日、差引売上:350,326,000円)

※一日平均売上額… 下2桁四捨五入、%… 小数点以下第2位四捨五入

※平成30年7月開催ミッドナイトは、台風の接近による悪天候のため1日中止。

平成29・30年度売上額及び入場者比較表(通常開催) ※ミッドナイト除く (単位:円、人、%)

月	売上額						入場者数			
	30年度実績 A		29年度実績 B		29年度との比較		30年度実績 D	29年度実績 E	29年度との比較	
	増減額 A-B=C	比率 C/B	増減数 D-E=F	比率 F/E						
4	SG 1,467,724,500	日数 5	G II 1,492,514,400	日数 9	△ 24,789,900	△ 1.7	19,746	19,483	263	1.3
5	477,513,600	4	848,486,000	8	△ 370,972,400	△ 43.7	7,039	15,795	△ 8,756	△ 55.4
6	758,882,300	7	854,765,500	8	△ 95,883,200	△ 11.2	11,482	15,274	△ 3,792	△ 24.8
7	553,860,000	6	G I 1,392,297,600	8	△ 838,437,600	△ 60.2	8,269	22,578	△ 14,309	△ 63.4
8	G I 1,524,938,900	11	727,969,800	7	796,969,100	109.5	22,201	10,991	11,210	102.0
9	特G I 1,490,084,500	9	特G I 881,512,400	5	608,572,100	69.0	19,484	13,059	6,425	49.2
10	717,288,000	8	671,332,700	7	45,955,300	6.8	13,553	11,576	1,977	17.1
11	G I 1,264,450,500	8	G I 1,008,660,300	6	255,790,200	25.4	17,731	14,599	3,132	21.5
12	600,773,700	6	811,768,000	6	△ 210,994,300	△ 26.0	9,865	12,136	△ 2,271	△ 18.7
1	G II 1,913,587,300	13	SG 1,838,860,900	9	74,726,400	4.1	22,386	22,813	△ 427	△ 1.9
2	380,876,800	3	729,528,500	7	△ 348,651,700	△ 47.8	4,339	13,112	△ 8,773	△ 66.9
3	954,693,000	8	736,724,400	7	217,968,600	29.6	13,380	13,715	△ 335	△ 2.4
合計	12,104,673,100	88	11,994,420,500	87	110,252,600	0.9	169,475	185,131	△ 15,656	△ 8.5
1日平均※1	138,384,800		137,866,900		517,900	0.4	1,925	2,127	△ 202	△ 9.5

※1 平成30年度の1日平均については、競走中止及び競走不成立により、1日の全レースが開催できなかった日数及び売上を除き算出  
(差引日数:2日、差引売上:203,579,400円)

※一日平均売上額… 下2桁四捨五入、%… 小数点以下第2位四捨五入

※売上額及び開催日数にミッドナイト開催分は含まない。



## 平成29・30年度売上額及び入場者比較表(ミッドナイト開催)

(単位:円、人、%)

月	売上額						入場者数			
	30年度実績 A		29年度実績 B		29年度との比較		30年度実績 D	29年度実績 E	29年度との比較	
					増減額 A-B=C	比率 C/B			増減数 D-E=F	比率 F/E
	金額	日数	金額	日数						
4	394,546,900	7	177,639,900	3	216,907,000	122.1	0	0		
5	130,120,400	3	178,054,200	3	△ 47,933,800	△ 26.9	0	0		
6	178,581,800	3	160,875,300	3	17,706,500	11.0	0	0		
7	198,763,000	3	159,195,100	3	39,567,900	24.9	0	0		
8	0	0	170,199,700	3			0	0		
9	199,354,800	3	162,688,700	3	36,666,100	22.5	0	0		
10	157,325,300	3	157,626,500	3	△ 301,200	△ 0.2	0	0		
11	179,503,400	3	153,347,500	3	26,155,900	17.1	0	0		
12	446,721,200	6	223,547,500	4	223,173,700	99.8	0	0		
1	0	0	0	0			0	0		
2	0	0	26,653,200	2			0	0		
3	411,697,200	6	463,939,700	7	△ 52,242,500	△ 11.3	0	0		
合計	2,296,614,000	37	2,033,767,300	37	262,846,700	12.9	0	0		
1日平均※1	65,147,500		57,346,100		7,801,400	13.6	0	0		

※1 1日平均については、競走中止及び競走不成立により、1日の全レースが開催できなかった日数及び売上を除き算出

(平成29年度 差引日数:2日、差引売上:26,653,200円、平成30年度 差引日数:4日、差引売上:146,746,600円)

※一日平均売上額 … 下2桁四捨五入、% … 小数点以下第2位四捨五入

※ミッドナイトは無観客のため入場者なし。

※平成30年7月開催ミッドナイトは、台風の接近による悪天候のため1日中止。

## 所管事務の概要（経済部 産学振興課）

### 1 産学振興課の組織

本庁 6名

産学振興課長（課長1名）

└── 産学振興係3名（課長補佐〔係長兼務〕1名 職員2名）

└── 企業誘致推進係2名（係長1名 職員1名）

### 2 所管事務事業の概要

#### 〔産学振興係〕

- (1) 新産業創出に関する事
- (2) 産業振興支援機関に関する事
- (3) 大学と地域産業に関する事
- (4) 大学間交流に関する事
- (5) 学会に関する事
- (6) 市民、大学及び行政との交流に関する事
- (7) 課の庶務に関する事

#### 〔企業誘致推進係〕

- (1) 企業及び研究所等の誘致に関する事。
- (2) 企業立地促進補助金に関する事
- (3) 工業団地に関する事
- (4) 地域産業の振興及び支援に関する事
- (5) 新産業創出支援補助事業に関する事
- (6) 発明考案に関する事

#### 〔産学振興係〕

### 1. 産業振興ビジョンの推進

平成15年2月に策定した「e-ZUKAトライバレー構想（新産業創出ビジョン）」の第三ステージが平成29年度に終期を迎え、産学官関係者による飯塚市中小企業振興円卓会議において、本市の産業振興に向けた今後5年間の方向性、目標、アクションプランについて審議し、平成30年3月に飯塚市中小企業振興基本条例に基づく「飯塚市産業振興ビジョン（※1）」を策定した。

このビジョンに基づき、目指す姿を「挑戦するヒトと共に未来を創る」と定め、この実現のために「戦略1：飯塚を担うヒトづくり」「戦略2：成長する会社づくり」「戦略3：新しい会社づくり」の3つの方策を柱として各種施策を展開している。

#### ※1)「飯塚市産業振興ビジョン」2018～2022主要施策

戦略1) 若年者就労促進及び人材育成

戦略2) 新規事業創出支援及び生産性向上支援、事業継続・拡大支援

戦略3) 創業環境の充実及び起業家支援、企業誘致の推進

### 2. 産学官連携の促進

新たな産業の創出や地域企業の新技術・新製品開発の促進等による地域経済の振興を図るためには、高度な専門知識と研究成果を有する大学との連携が不可欠である。このため、大学の技術の有効活用や産業界との共同研究の推進等による産学官連携を進めるため、産学官関係者の垣根を越えた交流の場として、「e-ZUKA トライバレー産学官交流研究会」を開催している。（事務局は公益財団法人飯塚

研究開発機構、一般社団法人嘉飯桂産業振興協議会、飯塚市の3機関)。また、医工学連携の推進のため、平成26年5月に、飯塚病院、九州工業大学、飯塚研究開発機構、飯塚市の4者による「医工学連携の協力推進に関する協定書」を締結し、本協定により、医療機関、研究機関、行政が一体となって医療分野における新たな産業の創出を目指している。

### 3. 産業支援機関への支援

産業支援機関である公益財団法人飯塚研究開発機構及び株式会社福岡ソフトウェアセンターの組織充実と相互の連携強化を図るため、人材の派遣など両機関の健全かつ効果的な事業運営に支援を行っている。

平成15年度に開設した飯塚市新産業創出支援センター内に経営全般に関する指導・助言を行うインキュベーションマネージャーを配置し、入居企業をはじめ、市内企業等の成長段階に応じたきめ細かな支援を行っている。

### 4. 大学及び大学生への支援

市内の3大学は、産学官連携による新産業創出の中核となる機関であるとともに、本市が教育先進地域としての価値を高め、産学官民一体となった魅力あるまちづくりを目指すうえで、地域に果たす役割は非常に大きく、都市の特色を示すことができる有効な財産である。このため、大学と市民、地域企業との連携及び大学間交流を促進するための積極的な支援を行っている。

また、大学生をはじめとする若者は地域の活力を維持・増進するための源泉であり、地域企業や地元住民との交流を深め、雇用機会

を創出することで地元への定着を図るため、平成30年10月に飯塚市市民交流プラザ内に「つなぐカフェ@飯塚」を開設し、交流促進と雇用創出の両面から各種事業を実施している。

### <市内3大学の概要>

#### ① 九州工業大学情報工学部（所在地：飯塚市川津 680-4）

設置 昭和61年10月

第1期生受入 昭和62年4月

学科（5学科）

知能情報工学科、情報・通信工学科、知的システム工学科、  
物理情報工学科、生命化学情報工学科

大学院情報工学府

博士前期課程

（先端情報工学専攻、学際情報工学専攻、情報創成工学専攻）

博士後期課程

（情報工学専攻）

#### ② 近畿大学産業理工学部（所在地：飯塚市柏の森 11-6）

開校 昭和41年4月

学科（5学科）

生物環境化学科、電気電子工学科、建築・デザイン学科、  
情報学科、経営ビジネス学科

大学院産業理工学研究科

（生物環境化学コース、電子情報工学コース、社会環境科学コース）

③ 近畿大学九州短期大学（所在地：飯塚市菰田東 1-5-30）

開校 昭和 41 年 4 月

学科（2 学科）

保育科、生活福祉情報科

通信教育部（保育科、生活福祉情報科）

〔 企業誘致推進係 〕

1. 企業誘致活動

製造業等を中心とした適地である「小藤工業団地」等への誘致を目指し、福岡県や関係機関と連携を図りながら、自動車産業をはじめとした各種製造業及び卸売業等の企業誘致活動を推進している。

2つの理工系大学を強みとして人材の定着と創業を促進するため情報関連産業の集積と研究所の誘致を目指すとともに、都市圏との連携を強化し、企業のサテライトオフィスの誘致に積極的に取り組んでいる。

また、都市圏等で開催される福岡県人会、地元高等学校の同窓会、県主催のセミナー等に参加し、産業振興施策のPR及び誘致支援に対する協力要請等を行っている。

市内分譲可能工業団地等

工業団地名	分譲区画面積	備考
小藤工業団地	1 区画 16,127 m <sup>2</sup>	分譲単価は飯塚市企業誘致推進会議の審査の上、決定
飯塚リサーチパーク	1 区画 3,342 m <sup>2</sup>	

2. 飯塚地域自動車産業研究会

飯塚地域自動車産業研究会は、福岡県が推進する「北部九州自動車産業アジア先進拠点推進構想」の一翼を担うため、自動車関連産業における飯塚地域企業の受注拡大及び新規参入を促進し、地域産業の振興を図ることを目的として活動している。

◆設立 : 平成 18 年 7 月 19 日

◆会員数 : 22 社

◆主な活動:自動車部品メーカーの工場見学会、会員間意見交換会、展示会出展、セミナー開催

3. 一般社団法人嘉飯桂産業振興協議会

大学及び産業支援機関との連携、企業相互の連携により、地域企業の経営基盤の強化を図るとともに技術力向上等を目指すための嘉飯桂産業振興協議会の活動に対し、嘉飯桂地域 2 市 1 町一体となって支援を行っている。

◆設立 : 平成 6 年 4 月 1 日

◆会員数 : 89 社（平成 31 年 4 月 1 日現在）

◆主な活動:講演会・交流会、情報発信、人材育成事業助成、産学官共同研究事業支援

4. 企業立地促進補助金に関すること

企業立地の促進により、指定産業（※2）の集積及び活性化並びに市民の雇用機会の拡大を図るため、飯塚市内において新たに事業を展開し、又は事業所を増設もしくは移設しようとする事業者に対して補助金を交付している。

◆補助金の種類

- 企業立地促進補助金：投下固定資産総額に対する補助
- 雇用促進補助金：新規常用従業員の雇用に対する補助
- 不動産取得補助金：新設事業所に係る不動産取得税に対する補助

◆交付条件

新增設に伴う投下固定資産総額3千万円以上で、市内に住所を有している新規常用従業員を5名以上、6月以上継続雇用すること

※2) 指定産業：製造業、情報サービス業、道路貨物運送業、卸売業、固定電気通信業、移動電気通信業、こん包業、自然科学研究所

5. 工業団地に関すること

本市内の工業団地は23箇所であり、このうち21箇所が完売となっている。(詳細は右一覧のとおり)

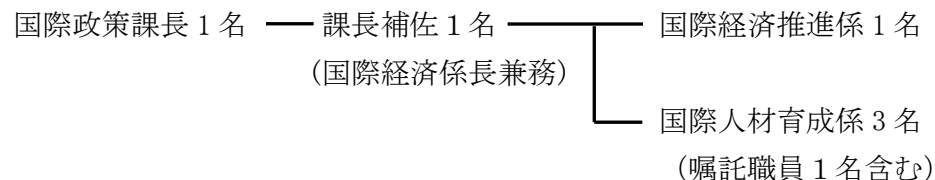
工業団地の分譲状況(面積)				平成31年4月1日現在				
地域	一連番号	工業団地名	事業主体	団地面積(ha)	工業用地面積(ha)			備考
					分譲済面積	分譲可能面積	計	
飯塚	①	飯塚リサーチパーク	飯塚市	7.2	3.3	0.3	3.6	(※1)
	②	津島工業団地	飯塚市	18.7	11.7	0.0	11.7	完売
	③	後牟田工業団地	地域整備公団	26.4	23.4	0.0	23.4	完売
	④	後牟田工業団地	飯塚市	7.4	7.4	0.0	7.4	完売
	⑤	幸袋工業団地	地域整備公団	9.4	7.5	0.0	7.5	完売
	⑥	小呉竹工業団地	飯塚市	3.1	3.1	0.0	3.1	完売
	⑦	上三緒工業団地	飯塚市	8.6	6.9	0.0	6.9	完売
	⑧	潤野工業団地	地域整備公団	11.1	10.4	0.0	10.4	完売
	⑨	グリーンヒル幸袋	飯塚市	29.9	28.6	0.0	28.6	完売
	⑩	目尾工業団地	飯塚市	1.3	0.9	0.0	0.9	完売
	⑪	鯉田工業団地	飯塚市	36.3	18.5	0.0	18.5	完売(※2)
	計		159.4	121.7	0.3	122.0		
穂波	⑫	飯塚工業団地	地域整備公団	110.4	70.5	0.0	70.5	完売
	⑬	平恒工業団地	地域整備公団	6.6	6.6	0.0	6.6	完売
	⑭	平恒地区工場適地	民間	4.8	3.4	0.0	3.4	完売
	計		121.8	80.5	0.0	80.5		
筑穂	⑮	平塚工業団地	地域整備公団	10.5	10.3	0.0	10.3	完売
	計		10.5	10.3	0.0	10.3		
庄内	⑯	有安工業団地	地域整備公団	16.0	15.1	0.0	15.1	完売
	⑰	庄内工業団地	地域整備公団	89.5	68.6	0.0	68.6	完売
	計		105.5	83.7	0.0	83.7		
穎田	⑱	明治工業団地	飯塚市(旧穎田町)	3.5	2.8	0.0	2.8	完売
	⑲	小藤工業団地	飯塚市(旧穎田町)	1.6	0.0	1.6	1.6	完売
	⑳	石丸工業団地	地域整備公団	6.1	5.6	0.0	5.6	完売
	㉑	穎田工業団地	地域整備公団	4.2	4.2	0.0	4.2	完売
	㉒	木浦岐工業団地	飯塚市(旧穎田町)	2.9	2.8	0.0	2.8	完売
	㉓	松尾工業団地	福岡県	12.4	7.6	0.0	7.6	完売
	計		30.7	23.0	1.6	24.6		
合計				427.9	319.2	1.9	321.1	

(※1) 飯塚リサーチパークの分譲可能面積地に関しては、現在貸借地として貸付中。

(※2) 鯉田工業団地は、平成31年2月15日に企業立地協定を締結し、本年度に不動産売買契約を締結予定のため「完売」と表示。

## 所管事務の概要（国際政策課）

### 1 国際政策課の組織



### 2 所管事務事業の概要

#### [国際経済推進係]

- (1) 国際都市いっぴか推進計画に関する事
- (2) 国際経済に関する事

#### [国際人材育成係]

- (1) 姉妹都市交流に関する事
- (2) 多文化共生の推進に関する事
- (3) 課の庶務に関する事

#### [国際経済推進係]

##### (1) 国際都市いっぴか推進計画

グローバル化の急速な進展により、人・もの・情報の交流が活性化している中で、世界に目を向けて、多様な文化の享受とあらゆる国籍の人々との共生や、国際交流・経済交流を通じて国際化を推進していくことで、魅力あふれる“ひとづくり”と“まちづくり”を目指すこととし、「人とまちと世界がつながる 国際都市いっぴか」を基本理念と定め、国際都市いっぴか推進計画を平成31年3月に策定しました。

また、本計画の実効性を確保するために、関係各課と協議しながら、毎年度の点検・評価による進捗管理を行い、必要に応じて見直し改善を行いながら計画の推進を図って行くこととしています。

##### (2) 海外との経済交流事業

###### ① バイエリア構想推進事業

バイエリア（サンフランシスコ近郊）で姉妹都市を提携している国内の地方自治体との連携・協力による、企業の海外進出や販路拡大等の支援に向けた取り組みを推進します。

###### ② アジア経済交流推進事業

労働力の確保や地域経済・産業の活性化の促進を図ることを目的として、市内企業の海外進出や販路拡大を行う上での活動支援やセミナー等の開催などにより、アジア諸国との経済交流を推進します。

#### [国際人材育成係]

##### (1) 姉妹都市交流

###### ① グローバル人材育成研修事業（I2S：いっぴかtoサニーベール）

中高生20名を姉妹都市であるアメリカのサニーベール市に派遣し、ホームステイや現地学生との交流を通して多文化への理解やコミュニケーション能力を向上させることで、将来の飯塚市を担う人材育成を行っています。研修後も、希望者については人材育成グループの一員として地域活動や国際交流等の活動を行っています。

###### ② 姉妹都市交流事業（S2I：サニーベールtoいっぴか）

平成25年にサニーベール市と友好交流関係協定を締結し、将来世代の育成を図ることを目的に、学校間交流やサニーベール市の中高生を受け入れることでホームステイや学校訪問による異文化交流を深めてきま

した。平成28年に姉妹都市協定を締結して以降は、姉妹都市の認知度を高め、市民の国際感覚の醸成を図り、両市の更なる発展へとつなげるため、大人の交流事業や民間事業者同士の交流についても推進しています。

## (2) 飯塚国際交流推進協議会

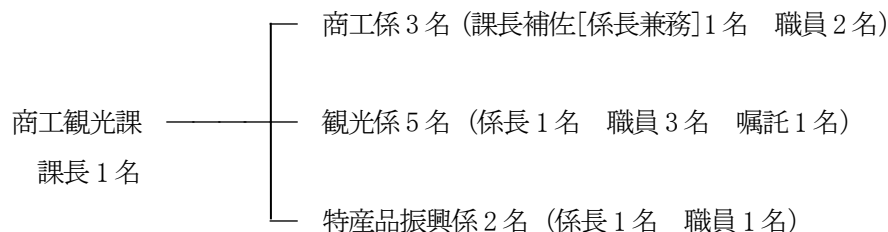
本市の国際交流推進を目的として、平成18年にボランティア団体、大学、関係機構等で構成する「飯塚国際交流推進協議会」（事務局：国際政策課）が発足し、一層の国際交流推進のための事業を実施しています。

今後も継続して、協議会と連携し、各国の料理を振舞うお国料理バザーや、市内の中学生・高校生や留学生によるスピーチコンテスト、留学生を一般家庭に招いて交流を行うホームビジットや外国語講座などの実施により市民への国際理解の機会を提供することで、多文化共生の地域づくりを行います。

## 所管事務の概要（商工観光課）

### 1 商工観光課の組織

本庁 11名



### 2 所管事務の概要

[商工係]

- (1) 商業、工業、鉱業の調査及び指導育成の総括に関する事。
- (2) 商業の振興に関する事。
- (3) 通信に関する事。
- (4) 労働政策に関する事。
- (5) 中小企業組合等に関する事。
- (6) 中小企業融資に関する事。
- (7) 博覧会、展覧会に関する事。
- (8) 採石業者に関する事。
- (9) 液化石油ガス設備工事に関する事。
- (10) 中小企業団体等の育成に関する事。
- (11) ガス事業法、液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律及び電気用品安全法の規定による立入検査に関する事。
- (12) 中小小売商業振興法に基づく計画の認定に関する事。

- (13) 中心市街地の活性化に関する事。
- (14) 運輸に関する事。
- (15) 課の庶務に関する事。

[観光係]

- (1) 観光開発計画に関する事。
- (2) 観光事業に関する事。
- (3) 温泉に関する事。
- (4) 観光関係団体に関する事。
- (5) 観光施設に関する事。

[特産品振興係]

- (1) 農産物及び特産品等のブランド化に関する事。

(商工係)

#### 1 商工業の活性化について

地域商工業振興の推進母体である、商工会議所、商工会や商工業者等と密接に協議を行い、活性化に向けた各種事業を実施している。また、これらの団体が実施する中小企業者向け経営診断、経営相談等の業務に補助金を交付する等、福岡県と連携しながら商工業の振興と地域活性化のため支援している。また、毎年10月下旬から11月上旬には、農林業、商工業の発展及び特産物の販売振興を図ることを目的に筑穂、庄内、颯田地区で産業まつりを開催している。



## 2 中小企業融資制度について

中小企業者に必要な資金を融資し、中小企業の振興育成を図ることを目的に独自の融資制度を設けている。平成31年4月1日から融資利率を1.55%から1.35%に引き下げ、中小企業者が利用しやすい利率として、安定的な資金調達を維持することにより産業振興に努めている。

また、中小企業者の経営安定化のために国の制度である「セーフティネット保証制度」の対象事業者認定事務を担当し、中小企業者に事業資金の融資がスムーズに行われるよう短期間での認定に努めている。

## 3 雇用について

若年者の就職意識の啓発、就職に向けての相談などを行う「ワンストップサービスセンターe-ZUKA」を設置し、専門家による面接指導、セミナーの開催等により相談者の能力の向上を図り、スムーズに就職できるよう支援している。

## 4 生活交通路線維持について

運行赤字により維持が困難となっている西鉄バス及びJR九州バス路線のうち、福岡県バス対策協議会において認定された生活交通路線について、国、県及び関係沿線自治体と連携して、赤字を補てんし、運行を継続している。

高齢者や学生等の移動手段確保のため、地域住民等と協議し、地域生活交通の確保に努めている。

(観光係)

### 1 旧伊藤伝右衛門邸を中心とした観光振興の推進

近代化産業遺産である「旧伊藤伝右衛門邸」を観光拠点として、「長崎街道(シュガーロード)」、「炭鉱」、「遠賀川」、「ボタ山」などをキーワードに「嘉徳劇場」、

「松喜醤油屋」、「飯塚宿・内野宿」などを結ぶ周遊観光、まち歩き観光を積極的にPRしている。また、観光ボランティアガイドを育成、組織化し、地元のホスピタリティ意識の向上に努めている。



嘉徳劇場



旧伊藤伝右衛門邸



内野宿

## 2 所管観光施設

### ① サンビレッジ茜

三郡山中腹の標高400mに位置する人工芝を敷きつめた本格的なゲレンデで、ナイター設備も完備し、一年中スキーを楽しめる。また、バンガロー等のキャンプ施設を備え、豊かな自然に囲まれたレジャー施設として親しまれている。指定管理者制度により、平成28年度から平成32年度までの5年間、一般財団法人サンビレッジ茜を指定管理者に指定している。



サンビレッジ茜



サンビレッジ茜スキー場

## ② 庄内温泉筑豊ハイツ

筑豊ハイツは一般の宿泊客のみならず、附属施設であるテニスコートや隣接する県営筑豊緑地の各種スポーツ施設を利用したスポーツ合宿、また研修や会議、飲食施設として地域内外から多くの人々が訪れており、筑豊ハイツでは毎年、世界有数の大会である「飯塚国際車いすテニス大会」が開催されていることに加え、昨年度に天皇杯・皇后杯が下賜された。また車いすテニス競技の2020東京パラリンピック事前キャンプ地やナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設としても指定されており、飯塚市の知名度アップや国際交流、地域経済の活性化に寄与している。

また、施設運営は平成28年度から平成32年度までの5年間、一般財団法人筑豊勤労者福祉協会を指定管理者に指定している。

このような中、老朽化、耐震の問題を抱えるとともに、バリアフリーや利用者ニーズへの対応が十分にできていない状況にあることから、民間活力を活用し、昨年度から飯塚市庄内温泉筑豊ハイツ再整備事業を行っている。



筑豊ハイツ



筑豊ハイツ テニスコート

## 3 観光イベントについて

毎年2月上旬から3月下旬までの約2ヵ月間実施している「いづか雛のまつり」は、19回目を数え、今年は約7万人の誘客実績を残し、県外にも浸透する本市の代表的なイベントに成長している。また、伝統の大人、子どもの「山笠」、「飯塚納涼花火大会」は形を変えず継続しており、また10月には「筑前の

国いづか街道まつり」を市民参加型のお祭りとして、3月には「大将陣桜まつり」を開催し、さらなる誘客を図るため年間を通してイベントを実施している。



雛のまつり



街道まつり



山笠

(特産品振興係)

### 1 特産品のブランド化及び販売の促進

平成29年度は女性をターゲットとした日本酒「ボンデ・クリック」を開発、平成30年度は、子育てママ世代をターゲットとした「ひだまり農家のリゾット」及び「ひだまり農家のドライベジ」を開発した。今後、新たな特産品を開発するとともに、関係団体と協力しながら販路を開拓し販売を促進していく必要がある。



日本酒 ボンデ・クリック



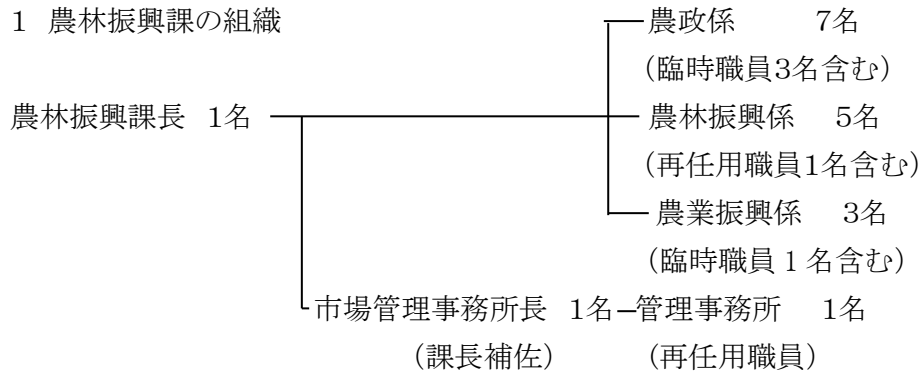
ひだまり農家のドライベジ



ひだまり農家のリゾット

## 所管事務の概要(農林振興課)

### 1 農林振興課の組織



### 2 所管事務事業の概要

#### [ 農政係 ]

- (1) 農業の振興及び指導に関すること。
- (2) 農林金融に関すること。
- (3) 農畜産物の生産計画及び指導奨励に関すること。
- (4) 地域農業再生協議会に関すること。
- (5) 農業共済事業の連絡調整に関すること。
- (6) 農業関係団体に関すること。
- (7) 農業施設の維持管理に関すること。

#### [ 農林振興係 ]

- (1) 土地改良の調整に関すること。
- (2) 農業集落排水事業に関すること。
- (3) 森林に係る各種計画に関すること。
- (4) 林業関係団体に関すること。
- (5) 保安林に関すること。

- (6) 緑化推進に関すること。
- (7) 畜産物の生産計画及び指導奨励に関すること。
- (8) 畜産物の災害対策及び病虫害の防除に関すること。
- (9) 飼養及び有害鳥獣駆除対策に関すること。

#### [ 農業振興係 ]

- (1) 農業振興地域の整備に関すること。
- (2) 課の庶務に関すること。

#### [ 市場管理事務所 ]

- (1) 市場事業の計画に関すること。
- (2) 市場施設の財産管理に関すること。
- (3) 市場施設の維持管理に関すること。
- (4) 市場業務の運営管理に関すること。
- (5) 市場関係業者に関すること。
- (6) 市場統計に関すること。
- (7) 市場運営審議会に関すること。
- (8) 市場管理事務所の庶務に関すること。

#### ○農業の振興

本市の農業は、水稻を基幹作物とし、野菜・果樹・花き並びに酪農・肥育の畜産、集落営農組織を中心とした大豆・麦との複合経営からなっている。農家数、農業就業人口は減少傾向が続いており、就業者の高齢化傾向が強くなり、厳しい環境におかれている。安定した集落農業経営を目指すとともに、担い手農家の育成と経営規模の拡大及び体験できる農業の推進や農産物消費拡大、流通経路の明確化等による都市・農村との交流促進が必要である。このため、食料・農業・農村基本計画による食料の安定供給の確保に関する施策、農業の持続的発展に関する施策、農村の振興に関する施策など国や県の施策を有効活用し、本市農業の推進振興を図る。

1、飯塚市の農業

(1) 米の生産調整

平成 25 年度より実施されている経営安定所得対策は、食料自給率の向上を図るとともに、安全で安心な国産農産作物の安定や多面的機能の維持という役割を担っている。本市においても、国、県の情報提供のもと、農協と連携し有効な手段として、主食の生産と供給の安定のため、その推進に努めている。

生産数量目標達成状況(平成 30 年度実績)

	水田面積 (a)	水稻生産目 標数量(t)	水稻生産実 施数量(t)	達成率 %
飯塚市計	214,341.5	6,040.6	5,759.3	104.8

※ 達成率＝水稻生産目標数量／水稻生産実施数量×100%

(2) 農業振興地域整備計画

農地の確保と都市化の健全な調整により、農地の総合的土地利用を図るため、農業振興地域整備計画を策定している。

農用地面積(平成 30 年 12 月 31 日現在、単位:ha)

	農用地 面積	農用地				農業 施設 用地	山林 原野
		農地			採草 放牧 地		
		田	畑	樹園 地			
飯塚市計	2,248.4	1,861.6	63.3	143.7	99.8	11.2	68.8

(3) 主要農作物の作付面積(平成 31 年 3 月 31 日現在、単位:ha)

	水稻	麦	大豆	野菜	果樹	花き
飯塚全域	1,168	136	120	187	22	10

(4) 畜産飼養戸数(平成 30 年 2 月羽数調査、単位:戸・頭・千羽)

乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏 (種鶏を含む)	
戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	羽数
8	324	15	2,190	3	2,862	7	144

(5) 久保白ダム土地改良区かんがい用水

久保白ダム共同施設、ダムに付帯するかんがい施設、農業排水施設、専用農業施設及び農業用水路の維持管理を行っている。

ア、久保白ダムの概要

場所:飯塚市久保白地内、桂川町大字中屋地内

規模:有効貯水量、4,150,000t 満水面積、500,000 m<sup>2</sup>

イ、農業用施設

揚水機場(飯塚市津原地内)

幹線用水路 11,570.6m(φ1,000～φ450)

ウ、受益面積(事業実施当初の受益面積)

飯塚市:1,148.0 ha 桂川町:18.0 ha

エ、工事の実施

事業主体:福岡県(昭和 39 年度～昭和 63 年度)

オ、総事業費:2,625,797,000 円

(6) ほ場整備事業状況

飯塚市のほ場整備率(平成 29 年度農林事務所資料)

	要ほ場整備面積(ha)	整備済面積(ha)	整備率(%)
合計	2,022.0	1,508.0	74.6

○林業の振興

森林計画制度による飯塚市森林整備計画(平成 29 年度～39 年度)に基づいた事業の取組みを行い、森林の持つ公益的機能をはじめ多様な機能の保全・維持管理を適切に実施する。

また、平成 24 年度から個々の森林の造林や間伐等を進めるため、森林組合や県と連携して森林経営計画を策定している。

※ 森林計画制度は、長期的視点に立って、森林の保続培養と森林生産力の増進を図りながら、森林の多面的機能が十分に発揮されるよう森林の施業(造林・間伐・下草刈等)を計画的かつ合理的に行うための制度。このように適正な森林施業の実施を確保するため、森林法など関係法律に基づいて全国の森林について「全国森林計画」がたてられる。国有林では「経営基本計画」「地域別の森林計画」がたてられ、民有林については「地域森林計画」がたてられるほか、市町村がたてる「森林整備計画」、個々の森林に対する計画として「森林経営計画」の制度が設けられている。

(1) 飯塚市林野面積 (単位:ha)

国有林	民有林				合計
	市有	その他公有	独立行政法人等	私有	
1,986	985	574	255	6,624	10,424

(平成 27 年度農業センサス及び農林振興課資料)

○農業集落排水事業

生活環境の改善と農業用水の水質保全を図ることにより、高度な農業生産活動を確立し、併せて下流の公共水域の水質保全に寄与するため、飯塚市内野地区において、し尿及び生活雑排水の処理施設を平成 13 年度から供用を開始し、特別会計で運営している。

(1) 施設の概要

場所: 飯塚市内野地区 計画総戸数: 179 戸(接続戸数 122 戸)

面積 15.0ha、処理能力: 211 m<sup>3</sup>/日 780 人槽

(2) 会計状況

公営企業会計(法非適用)の特別会計

29 年度決算

歳入 21,566 千円

内訳: 使用料 4,823 千円

繰入金 16,600 千円

繰越金 143 千円

歳出 21,452 千円

内訳: 一般管理費 1,281 千円

施設管理費 7,162 千円

公債費 13,009 千円

[ 市場管理事務所 ]

1. 飯塚市地方卸売市場の概要

飯塚市地方卸売市場は、昭和 45 年 4 月に水産物部、同年 8 月に青果部が入場。さらに昭和 55 年 4 月には花き部が入場し、主に飯塚市及び周辺の住民の毎日の生活に欠くことができない生鮮食料品や花き等の流通における集分荷の円滑化、公正な価格形成の場として根幹的な役割を果たす、県内唯一の公設総合卸売市場となった。

また、青果部については、第6次福岡県卸売市場整備計画に基づき、飯塚市地方卸売市場は平成 10 年度、11 年度の2ヶ年で施設の新增設を行い、平成 13 年 4 月 1 日に飯塚、田川及び直方の3市場が統合、筑豊地区の青果市場が一本化した。なお、水産物部は平成 31 年 3 月 31 日をもって本市場を退場した。

(1) 市場開設者 飯塚市長

(2) 市場の位置 飯塚市菰田西3丁目6番1号

(3) 市場の面積 46,130 m<sup>2</sup>

(内訳)

青果部 40,757 m<sup>2</sup>

花き部 5,373 m<sup>2</sup>

(4) 市場流通圏内の人口(H30・4・1 現在)

青果部 417,669 人 201,134 世帯

(飯塚市・嘉麻市・桂川町・直鞍・田川地区)

花き部 180,525 人 82,937 世帯

(飯塚市・嘉麻市・桂川町地区)

(5) 卸売業者 (H31.3. 31 現在)

①青果部 フェーマインド新筑豊青果株式会社

入場年月日 昭和 45 年 8 月 24 日

資本金 70,000 千円

役員 30 人

買受人 196 人

取扱量 36,553 トン(平成 30 年度)

取扱金額 7,326,700 千円(平成 30 年度)

②花き部 株式会社飯塚花市場

入場年月日 昭和 55 年 4 月 1 日

資本金 10,000 千円

役員 5 人

買受人 93 人

取扱量 3,272 トン(平成 30 年度)

取扱金額 338,293 千円(平成 30 年度)

## 所掌事務の概要（農業委員会事務局）

### 1 農業委員会の構成（令和元年5月1日現在）

#### (1) 農業委員会委員 定数 19人

農業者からの推薦 10人、農業者団体からの推薦 5人、一般公募 4人（うち1人は中立委員）

※ 任期：3年（平成31年4月1日から令和4年3月31日）

#### (2) 農地利用最適化推進委員 定数 30人（※2人欠員により公募中）

※ 任期：3年（平成31年4月1日から令和4年3月31日）

#### (3) 事務局職員

本庁 8人（局長 1人、係長 1人、書記 3人、再任用職員 1人、臨時職員 2人）

分室（各支所経済建設課） 13人（課長 4人、係長 4人、書記 4人、再任用職員 1人）

### 2 所管事務事業の概要

(1) 農業委員会等に関する法律第6条第1項から第3項までに規定する事務

(2) 総会及び小委員会に関すること。

(3) 総会の権限に基づき決定された事項の処理に関すること。

(4) 農業委員会に附帯する事項及び総会において定めること。

(5) 職員の人事に関すること。

(6) 租税特別措置法(昭和32年法律第26号)に関する事務

(7) 農地台帳の整理調査に関する事務

(8) 農業者年金に関する事務

(9) 遊休農地に関する事務

(10) 農地パトロールに関する事務

(11) 諸証明の発行に関する事務

(12) 公印の保管に関すること。

(13) 文書の收受、発送、編さん及び保存に関すること。

(14) 書類等の閲覧に関すること。

(15) 予算及び決算に関すること。

- (16) 物品の出納、保管及び経理に関すること。
- (17) 分室に関すること。
- (18) 公告式に関すること。
- (19) 前各号に掲げるもののほか、農業委員会の庶務に関すること。

### 3 農地の移動状況

(単位：㎡)

事務内容 年	農地法第3条申請 (農地の移転・貸借)		農地法第4条申請 (権利の移転・設定を 伴わない転用)		農地法第5条申請 (権利の移転・設定を 伴う転用)		農地法第18条申請 (小作の解約)		利用権 (農地の貸借)	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
平成27年	37	125,573	9	10,314	77	130,927	102	330,630	519	1,743,651
平成28年	33	58,730	7	6,857	49	63,378	81	254,386	569	1,976,660
平成29年	34	80,497	8	14,542	74	62,002	76	265,906	503	1,762,324

※ 面積は、小数第1位を四捨五入したもの。

### 4 農業者年金

(単位：人)

種別 年度	受給者		合計
	経営移譲	老齢	
平成27年度	159	65	224
平成28年度	141	63	204
平成29年度	127	59	186



## 所管事務の概要（支所経済建設課）

### 1 経済建設課の組織

穂波支所（15名）

経済建設課長1名 — 係長1名 — 経済建設係13名  
（再任用4名、嘱託0名、臨職3名含）

筑穂支所（9名）

経済建設課長1名 — 係長1名 — 経済建設係7名  
（再任用1名、嘱託1名、臨職2名含）

穎田支所（9名）

経済建設課長1名 — 係長1名 — 経済建設係7名  
（再任用1名、嘱託1名、臨職2名含）

庄内支所（11名）

経済建設課長1名 — 係長1名 — 経済建設係9名  
（再任用1名、嘱託0名、臨職3名含）

### 2 所管事務事業の概要

経済建設課 経済建設係

- (1) 商工会との連絡調整に関する事。
- (2) 所管区域内における商工業の振興に関する事。
- (3) 所管区域内における観光施設の管理に関する事。

- (4) 所管区域内における工業団地の管理に関する事。
- (5) 農政に関する書類(占用申請を含む。)の受理に関する事。
- (6) 農政(農業団体を含む。)に係る連絡調整に関する事。
- (7) 所管区域内の農業、林業、特産物の振興に関する事。
- (8) 所管区域内の耕地、農林施設の災害防止及び復旧事業の現地調査、報告に関する事。
- (9) 所管区域内の農林業施設の管理委託及び軽易な維持に関する事。
- (10) その他所管に係る届出等の受理及び軽易な苦情・相談等の処理に関する事。
- (11) 所管区域内の道路、河川、公園、下水道敷等の軽易な維持管理及び苦情処理等に関する事。
- (12) 所管区域内の道路、準用河川、法定外公共物、都市公園その他公園及び児童遊園の占用(使用)申請の受付、進達に関する事。
- (13) 所管区域内の交通安全施設及び交通制限に関する事。
- (14) 所管区域内の鉱害に関する事。
- (15) 市営住宅の入退去受付等に関する事。
- (16) 使用料の収納に関する事。
- (17) 所管区域内の市営住宅の維持管理に関する事。
- (18) 道路台帳の整理、保管、閲覧に関する事。
- (19) 国土調査の成果に対する軽易な苦情処理に関する事。
- (20) 所管区域内の地元調整に関する事。
- (21) 所管区域内の公共土木施設等災害復旧事業の現地調査・報告に関する事。
- (22) 所管内区域の空き家等に係る相談受付及び助言に関する事。
- (23) 課の庶務に関する事。